

前回セミナーレポート

基調講演

新しい日本の英語教育の方向性と大学入試改革

上智大学 特別招聘教授・言語教育研究センター長 吉田 研作先生

- 【内容】
- 日本人の英語力と自信度
 - 学習指導要領の基本的考え方
 - アクティブラーニング
 - 高校の英語教育の現状と課題
 - コミュニケーション中心の英語指導で入試に対応できるのか
 - 新学習指導要領で求められる高校生の英語力
 - グローバル化に対応した人材育成
 - 外国語教育における見方・考え方
 - 5領域の各指導目標と思考力・判断力・表現力としての言語活動 (Listening Comprehension / Reading Comprehension / Speaking (Interaction) / Speaking (Production) / Writing)
 - 大学教育において求められる3ポリシー
 - 大学入学共通テスト
 - 学習指導要領との親和性
 - …ほか



■参加された高校教員の声（一部抜粋）

- 正直、新学習指導要領をきちんと読んでいなかったのですが、講演を通じてよく内容が理解できました。同時に現在の勤務校で行っていることの方向性が正しいと確信できました。有難うございました。（千葉県 県立高校）
- 我々の授業が知識偏重なのだと改めて痛感した。またこれからの受験についても、どのように変化していくのか、またどのようなことに気をつけていくのかが、大変分かりやすくまとめられていて、参考になった。（千葉県 私立高校）
- 生徒の運用能力を高めるためのアクティビティのアイディアが素晴らしい。私は中々思い浮かびません。（東京都 都立高校）
- 明解なプレゼンテーションで素晴らしいです。エリスやクラッシャンが20年前から言っていたことを教育の場で、日本の研究者からきっちりと聞けたのは嬉しいです。（東京都 都立高校）
- たいへんわかりやすく、よく理解できました。学年だよりに記事を依頼されているので、早速、生徒・教師両方に役立つ内容にして載せたいと思います。（埼玉県 県立高校）
- 今、この時代に英語科教員として英語教育に関わることを幸せに思うとともに、きちんと対応できる授業を行っていかないと感じました。ありがとうございました。（東京都 私立高校）
- 教員の英語使用と生徒の動機づけという部分に一番印象を受けました。この改革の時期に教壇に立つ者として、英語教育について、もっと自身も学び取り組みたいと考えております。（東京都 私立高校）
- データに基づき、5領域バランスよく授業が行われている学校の生徒の満足感が高いという話がありました。クラスルームイングリッシュを使ったり、活動を多く設定したいと思いました。また、本当に生徒が理解したかをはかるには、やはりアウトプット活動が大事だという事が改めてわかりました。（神奈川県 私立高校）
- 英語を言葉で教えたい（教えなければならない）状況で、私自身が英語を使っていかなければならないし、使うことで生徒の幸せにつながるということを実感した。英語を読む・書くなど分割するのではなく、統合的に使うことを目的にすることの大切さを知りました。ありがとうございます。（東京都 私立高校）
- 改革の当事者の先生からその趣旨をわかりやすく説明していただき、理解することができました。授業にいかしてみたいと思います。（神奈川県 県立高校）
- 統合的言語指導の必要性を痛感しました。特にペネッセによるアクション・リサーチの2018年の結果は説得力がありました。また、「Output improves the quality of input」という好きな考え方の正しさを再認識することができました。（東京都 私立高校）
- 学習指導要領は現場で読み解いてもよくわからないし、自分たちの解釈が正しいのか検証できないため、今回のように解説していただけたことはとても有難かったです。大学入試改革のこととも併せてとても良かった。（静岡県 県立高校）

より価値ある4年間へ。新しい大学進学キャリアパス紹介

現役からワンランク上の大学へ「大学3年次編入」

日本外国語専門学校 英語本科 学科主任／大学編入担当 新里 卓

■参加された高校教員の声（一部抜粋）

- 進路指導の参考になりました。有難うございました。（千葉県 県立高校）
- こちらの学校でどのようなことをして、編入させているのかを知れた。また論文の書き方や、大学編入に向けて、1年次に講座があるのは、非常に面白いと思った。（千葉県 私立高校）
- 前向きに学習する学生さんを育ててるので、とても素晴らしいと思います。大学にストレートで入った人より、実践的な学びに対するモチベーションが高くなるのは非常に良いですね。丁寧に学生と向き合う学校の姿勢に共感します。（東京都 都立高校）
- 私立が定員をしづり込む中で、新たな進学の可能性であると思いました。短大から系列大学の3年次へ、又は大学入学後に元々目指していた大学への3年次編入、だけではないんですね。（東京都 私立高校）
- 専門学校でも大学のような授業をしているということが分かり新鮮でした。進路を迷っている生徒には、専門学校という選択肢があるということを学びました。（東京都 私立高校）

●日本外国語専門学校卒業生スピーチ “大学編入を語る”

齊藤 リナ（宇都宮大学 国際学部3年 / 岩手県立不來方高校出身）



宇都宮大学
国際学部3年
齊藤さん

■参加された高校教員の声（一部抜粋）

- リナさん、素敵なスピーチをありがとうございました。リナさんの言葉に気づかされたことが多かったです。生徒たちの意見を受けとめていきたいと思います。（群馬県 市立高校）
- 目的を持ち、外国語を学んでいる印象を受けました。明確な目的を持っていましたからこそ、編入後の大学生活がより充実していたのだと思いました。（東京都 私立高校）
- 自分の選択を「後悔していない。とても感謝している」思いが伝わってきました。「選択肢の多さ」というのは、人の潜在力を生かすということを改めて感じました。（神奈川県 県立高校）

「新しい日本の英語教育の方向性と大学入試改革」(2018.12.9 開催)

高等学校の英語教育実践発表

「生きる！生かす！生む！」英語の授業づくり－生徒が『動く』言語活動と評価の工夫－ 岩手県立不來方高等学校 指導教諭 松尾 美幸先生

- 【内容】
- はじめに（前任校・現勤務校の特徴／次期学習指導要領において育成すべき資質・能力の三つの柱／生徒の心・体・頭が『動く』授業）
 - CAN-DOリストの設定と活用（学びの見取り図としての CAN-DO／学習到達目標としての CAN-DO／指導を支えるシラバス内 CAN-DO／生徒の自己評価を支える CAN-DO／生徒の自己評価に活用する CAN-DO） ●英語の授業における「生」とは？
 - 授業内活動事例（通常の授業の流れ／Warm Up例／定番の活動例：Story Retelling／教科書の内容に基づいた言語活動）
 - パフォーマンス評価実践例（持続可能なパフォーマンス評価 → 「やりとり」を評価するスピーキングテスト実践例） …ほか



■参加された高校教員の声（一部抜粋）

- ご自身のワークシート、実際の授業風景まで教えていただき感謝です。（東京都 私立高校）
- 生徒の動機づけのためにも、CAN-DOリストを作り、できた所は色を付けていくことは、大変勉強になります。なかなか英語で学ぶモチベーションが上がらない生徒が多くいますので、このようなことを実践していきたいと思いました。（東京都 私立高校）
- ①CAN-DOリスト、しかも学年別・学期別・授業別で示していただいた ②教員団がチームとして動いているという事実にも感心しました。（神奈川県 私立高校）
- 全国的な大きな流れの中で、本校も授業のやり方を変えてきました。試読式の古いやり方からは脱却できているが、生徒に活動させながら授業を進めるなかで、評価の方法やさらに活発に動かすにはどうしたらよいか、不登校の生徒、学力の高い生徒、苦手な生徒と様々な生徒がいる中で、数多くのヒントをいただきました。上手に工夫しながら授業をされている様子が手に取るようにわかり、大変勉強になりました。（長野県 私立高校）
- 様々な言語活動例は参考になった。また、教育活動の基盤として、教育の意味について深い考察があり、素晴らしいと思いました。（神奈川県 県立高校）
- パフォーマンステストのやり方や、「話す」活動の実践例が非常に参考になった。改良して取り入れたい。（宮城県 私立高校）
- 様々な活動、生徒のレベルを測る方法、評価方法が知れて役に立ちました。（東京都 私立高校）
- 様々な実践例を紹介していただき興味深かったです。教科書で学習した内容や教材を生かした活動を考えていて、かつ生徒たちの身近な話題や世情にも沿ったTOPICを取り入れるよう心掛けているところにとても感銘を受けました。授業とは「生きるもの」で学んだことを活かせるような授業を自分も考えていかないといけないなと思い、刺激を受けました。（長野県 県立高校）
- 先生の魅力あふれる授業内容と、お人柄にとても心動かされました。毎日の業務をこなすだけになってしまっている今、「生徒が楽しいと思うことにアンテナをはっておく」「遊びを作る」というお言葉が心に響きました。（東京都 私立高校）
- 授業準備に多くの時間を費やしていることが伺えました。リソースフルでバイタリティーにあふれ、生徒との時間を楽しんでいることが良く分かりました。授業デザインの素晴らしさは言うまでもなく、何よりも授業や生徒に対する“想い”的強さに感銘しました。（東京都 私立高校）
- activityの紹介をたくさんしていただき、自分の勤務校で実施するのならどうしようなど考えながらワクワクしてきました。学んだ表現と活用場面の設定は毎回悩まされることも多かったので、参考になりました。又、話すのが苦手な工業男子にはコラージュはとても使えると思い、イメージから入る手法でやってみようと思います！！（静岡県 県立高校）

「世界の言語習得」で広がる未来

2020年、そしてその先を志向した「世界の言語習得」の意義

日本外国語専門学校 アジア・ヨーロッパ言語科 学科主任／韓国語担当 李 恩周

●日本外国語専門学校アジア・ヨーロッパ言語科在校生・卒業生スピーチ “世界の言語を学んで”

- 〔韓国語〕 山本 愛絵（韓国語+英語専攻2年/東京都立調布北高校出身）
- 〔中国語〕 菅野 敏恵（中国語+英語専攻2年/神奈川県立横浜立野高校出身）
- 〔フランス語〕 山本 春菜（東京外国语大学3年次編入〈現4年〉） / フランス語+英語専攻2017年卒業/神奈川県立神奈川総合高校出身）
- 〔ベトナム語〕 山石 奈摘（ベトナム語+英語専攻1年/神奈川県 アレセイア湘南高校出身）



■参加された高校教員の声（一部抜粋）

- 英語のみならず、世界言語も流暢に話せており、授業のレベルの高さを感じた。2つの講演を含めて、大学入学だけが夢を叶える方法ではないのだなど、自分の進路指導の在り方を見直せるきっかけとなった。（千葉県 私立高校）
- 自分の学校でも、韓国語に興味を持っている子が確かにいるので、グローバル人材を育成する視点から見ても、このような子たちの興味の芽はつむべきではないなと感じた。しかし、英語以外はできないので自分も勉強していく必要性があると感じた。（東京都 私立高校）
- 世界言語、特に、アジア諸国の言語を学ぶ生徒（学生）さんが増えているということで、さまざまな選択肢、道があるのだと再確認いたしました。また、学生さんたちの各国の言語を話している姿を見て、とてもかっこいいなと思いました。彼女たちのように、英語以外の世界の言語を学びたいという生徒がいれば背中をしっかりと押していきたいと思います。（群馬県 市立高校）
- 目標を持った生徒をつくると、とても素敵なお伸びが示されると感じました。（神奈川県 県立高校）
- 今後、海外から日本で就労する人々が増えることが予想されることから、その言語や文化を学ぶ重要性は高まっていると思います。（千葉県 県立高校）
- 東南アジアの言語習得が就職につながっていて、すごいと思いました。（沖縄県 私立高校）
- うちの修学旅行がベトナムなので、英語のみならずベトナム語を学ぶ必要性を感じているので興味深かったです。高校生や中学生（一貫校）にこのような情報が定期的に送られてくると良いと思いました。（神奈川県 私立高校）
- 生徒さんが短い期間にどの言語もしっかりと習得されている姿にとても感心しました。（東京都 都立高校）
- 勤務校では来年より韓国語の高校とも交流を開始する予定です。保護者の中にもアジアや中東に興味・関心を抱いている方々もいます。今後、英語圏のみならず広く世界へ目を向ける必要性を感じる中、学生の方々のスピーチを聴くことができ、刺激となりました。（東京都 私立高校）
- 貴校学生や卒業生の前向きな姿勢に感動です。社会人基礎力や語学力に自信をもって活躍している様子でした。がんばって下さい。（新潟県 私立高校）

